

1. 開催年月日 平成 29 年 7 月 13 日 (木) 15 時 00 分～16 時 30 分
2. 開催場所 岐阜県可児市広見七丁目 90 番地
株式会社ケーブルテレビ可児 会議室
3. 出席委員数 6 名 (欠席 3 名)
4. 事業者側出席者数 3 名
5. 議 題
 1. 番組試聴および審議
 2. 放送番組全般について

6. 審議内容

次の番組を聴取し、審議した。

6 月 15 日 (木) 11:20 ～ 11:40 放送分

「可児市役所からこんにちは」

パーソナリティ：野田三代

ゲスト：可児市役所 都市計画課 新井雅和

- ・今回このコーナーをはじめて聴いた。パーソナリティが見事に切り盛りしていた印象。二人の話し方のテンポが違うので聴きやすい。ひとつのテーマだけで 15 分話すのなら、今日はこのことについてお話いただけますという枠付けがあるとよい。
- ・市の広報は毎月、ほぼ同じ話題を広報紙やテレビなど色々な形で紹介している。今回の場合は、広報紙の段階でもわかりにくいという意見があったものを、ベテランである野田さんが上手にリードしてくれて、番組として成立した印象。今回最も言わなければいけなかったキーワードを、後から野田さんが機転をきかせフォローしリードしてくれていた。
- ・職員は話し慣れていないせいか早口になっていると感じた。手元に資料がない中での制度説明で、盛りだくさんのことを短時間で話したことに、敬意を表するくらい話し手。野田さんはききやすい声でテンポもよく、ゲストをアシストしているということを感じられた。
- ・私も 15 分間話した野田さんの力量は大したものと思った。逆を言えば、全部言わなくてはいけないのかと。情報は色々ところで発信されているので、ここで全部伝えきらなくても、詳細はこちらを見て下さいと案内するなど、ある程度割り切ることもできるのでは。1 トピック 15 分は長いので、情報をずっと流すのではなく、情報と情報の間をおしゃべりでつなぎながら雰囲気を変えつつするのもひとつの方法では。なるべく濃い情報を詰め込むことから、内容を指し示すという方に、力点を置き換えるのはどうか。

7 月 4 日 (火) 8:20 ～ 8:40 放送分

「よってりゃあ みたけ情報局」

パーソナリティ：徳田光恵

ゲスト：御嵩町役場 保険長寿課 生駒百花

同 福祉課 鍵谷ゆうこ

- ぶっつけ本番かなという感じを受けた。一問一答式なので、もう少し事前に話しをしておけば話題をまとめられると思う。すごく楽しげに話していて、パーソナリティが笑ってしまうのが気になった。このような話題はもう少し淡々と事務的にした方がよいのではと思った。徳田さんはパーソナリティとして長くやっていて、当初と比べると少しは聞きやすくなった。語尾をさらっと言えるようになるともう少し聞きやすくなる。
- 意味のない笑いと、明らかに内容を把握していない発言や間違いは、こうした番組ではやってはいけないので注意してほしい。内容によっては、パーソナリティではなく発信者が中心になって進めていくという形式もとれるのでは。柔軟に内容に合わせて変えていくとよいと思う。
- BGMが邪魔になっていた。いっそ前後だけBGMを流して、あとは無音で話をじっくり聞かせても良いのでは。私見では、徳田さんは周りにあたたかく言葉かけをする人柄のせいもあると思うが、一生懸命その内容をわかりやすく伝えたいという想いが走ってしまうのか、本当はもっと淡々と聞いて、ゲストに少しでも多く話させる話術を高められるとよい。

2. 放送番組全般について

- 行政と広報は密接な関係にあるので、協力していいものにしていく姿勢があると良い。

以上の意見が出され、全員承知した。